



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社

上場取引所 東

コード番号 8006 URL <http://www.yuasa-funashoku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 諸澤 隆芳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 黒坂 幸夫

TEL 047-433-1212

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	53,505	△2.9	784	7.4	903	7.7	237	△50.4
24年3月期第2四半期	55,129	△1.6	730	△21.3	838	△15.1	479	△12.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 222百万円 (△65.4%) 24年3月期第2四半期 642百万円 (349.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	5.17	—
24年3月期第2四半期	10.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	46,964	22,694	47.5	485.30
24年3月期	46,245	22,830	48.6	488.52

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 22,322百万円 24年3月期 22,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	8.00	8.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	△1.7	1,700	3.5	1,900	1.7	900	△19.0	19.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	48,977,231 株	24年3月期	48,977,231 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	2,979,750 株	24年3月期	2,979,237 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	45,997,813 株	24年3月期2Q	46,001,597 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10
5. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、東日本大震災の復興需要などから、緩やかに回復しつつありますが、欧州債務危機による海外経済の減速感の広がり、円高の長期化などを背景に、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

食品流通業界におきましては、生活者の先行き不安から消費マインドが低迷し、節約・低価格志向が継続し、引き続き厳しい環境に推移しました。

ビジネスホテル業界におきましては、利用客は着実に回復しましたが、首都圏エリアでの競争は厳しい状況が続きました。

このような状況の中で当社グループは、首都圏を基盤に地域に密着した営業を展開してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高535億5百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益7億84百万円（前年同期比7.4%増）、経常利益9億3百万円（前年同期比7.7%増）となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損2億63百万円を計上したことなどにより2億37百万円（前年同期比50.4%減）となりました。

事業別セグメントの概況

①商事部門

商事部門におきましては、消費が伸び悩む中、低価格志向が続き、業種・業態を超えた企業間競争は一段と厳しさを増しました。

このような中、商品供給を的確に行う中で、新規取引の開拓に努めてまいりました。

部門別の売上高は、食品では冷凍・チルド商品、菓子は引き続き増収となりましたが、加工食品、砂糖、酒類が減収となりました。業務用商品では小麦粉の販売数量が堅調に推移し増収となりましたが、油脂は販売数量は増加したものの販売価格が低下し減収となりました。飼料畜産では食肉需要が低迷する中、飼料価格は高値に推移しましたが生産者の需要が伸び悩み減収となり、また、畜産は成豚の取り扱い数量が低調に推移し減収となりました。米穀では相場が不足感から高値で推移し、末端での店頭価格も上昇したことなどから、販売数量が伸び悩み減収となりました。

その結果、商事部門全体の売上高は513億93百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は6億71百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

②ホテル部門

ホテル部門におきましては、震災の影響により大幅に減少した昨年から着実に回復し、各ホテルとも利用客が増加しました。稼働率の回復に伴い、客室単価も回復基調にありましたが、中国、韓国からの訪日外国人客が減少傾向に推移する中、競合ホテルの動向もあり、客室単価は一昨年の水準までは至りませんでした。

その結果、売上高は17億31百万円（前年同期比19.6%増）、営業利益は1億97百万円（前年同期比1,394.1%増）となりました。

③不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入として売上高は3億80百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は3億4百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億19百万円増加し469億64百万円となりました。その内容は、流動資産の増加10億68百万円、固定資産の減少3億48百万円で、その主な要因は現金及び預金の増加13億81百万円、受取手形及び売掛金の減少1億46百万円、原材料及び貯蔵品の減少4億78百万円などによるものです。

負債は、8億54百万円増加し242億69百万円となりました。その内容は、流動負債の増加11億80百万円、固定負債の減少3億25百万円で、その主な要因は支払手形及び買掛金の増加8億95百万円、短期借入金の増加3億67百万円、長期借入金の減少3億円などによるものです。

純資産は、1億35百万円減少し226億94百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少1億31百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは21億9百万円（前年同期比12億51百万円増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益6億65百万円、たな卸資産の増減額4億2百万円、仕入債務の増減額8億55百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは△3億45百万円（前年同期比2億35百万円減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△2億1百万円、投資有価証券の取得による支出△1億82百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは△3億80百万円（前年同期比5億50百万円増）となりました。これは主に配当金の支払額△3億67百万円などによるものです。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物四半期末残高は前連結会計年度末から13億76百万円増加し43億41百万円（前年同期比4億48百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,080	4,461
受取手形及び売掛金	14,063	13,917
有価証券	0	0
商品及び製品	1,255	1,351
仕掛品	36	37
原材料及び貯蔵品	881	402
繰延税金資産	66	88
未収入金	2,585	2,778
その他	74	74
貸倒引当金	△89	△89
流動資産合計	21,955	23,023
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,450	13,480
減価償却累計額	△8,979	△9,133
建物及び構築物(純額)	4,470	4,346
機械装置及び運搬具	1,859	1,883
減価償却累計額	△1,563	△1,605
機械装置及び運搬具(純額)	295	277
土地	10,594	10,561
その他	1,394	1,606
減価償却累計額	△1,126	△1,159
その他(純額)	268	447
有形固定資産合計	15,630	15,633
無形固定資産		
ソフトウェア	25	51
その他	163	154
無形固定資産合計	188	206
投資その他の資産		
投資有価証券	4,734	4,615
長期貸付金	456	441
繰延税金資産	762	522
差入保証金	2,510	2,518
その他	322	275
貸倒引当金	△315	△272
投資その他の資産合計	8,471	8,101
固定資産合計	24,289	23,940
資産合計	46,245	46,964

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,345	16,240
短期借入金	3,999	4,366
未払法人税等	218	155
賞与引当金	93	91
災害修繕引当金	6	—
その他	1,428	1,418
流動負債合計	21,091	22,272
固定負債		
社債	25	20
長期借入金	809	508
退職給付引当金	634	629
役員退職慰労引当金	21	22
負ののれん	8	6
長期未払金	186	171
その他	636	638
固定負債合計	2,322	1,996
負債合計	23,414	24,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,576	5,576
利益剰余金	11,803	11,671
自己株式	△624	△624
株主資本合計	22,354	22,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116	100
その他の包括利益累計額合計	116	100
少数株主持分	359	372
純資産合計	22,830	22,694
負債純資産合計	46,245	46,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	55,129	53,505
売上原価	49,843	48,208
売上総利益	5,285	5,297
販売費及び一般管理費	4,554	4,512
営業利益	730	784
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	78	82
その他	61	61
営業外収益合計	154	158
営業外費用		
支払利息	27	27
為替差損	7	6
その他	11	5
営業外費用合計	46	39
経常利益	838	903
特別利益		
資産撤去費用見積改定額	—	48
特別利益合計	—	48
特別損失		
固定資産処分損	2	3
減損損失	4	19
投資有価証券評価損	—	263
東日本震災損	12	—
特別損失合計	18	287
税金等調整前四半期純利益	820	665
法人税、住民税及び事業税	256	199
法人税等調整額	80	227
法人税等合計	337	426
少数株主損益調整前四半期純利益	482	238
少数株主利益	3	0
四半期純利益	479	237

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	482	238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	159	△16
その他の包括利益合計	159	△16
四半期包括利益	642	222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	639	221
少数株主に係る四半期包括利益	3	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	820	665
減価償却費	333	249
減損損失	4	19
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8	△5
長期未払金の増減額(△は減少)	△35	△14
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△0	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△43
災害修繕引当金の増減額(△は減少)	△39	△6
受取利息及び受取配当金	△93	△96
支払利息	27	27
投資有価証券評価損益(△は益)	—	263
有形固定資産除売却損益(△は益)	2	3
売上債権の増減額(△は増加)	360	170
たな卸資産の増減額(△は増加)	△39	402
その他の資産の増減額(△は増加)	△348	△213
仕入債務の増減額(△は減少)	507	855
その他の負債の増減額(△は減少)	△113	△97
その他	△55	102
小計	1,315	2,281
利息及び配当金の受取額	93	97
利息の支払額	△28	△27
法人税等の支払額	△522	△242
営業活動によるキャッシュ・フロー	857	2,109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68	△201
投資有価証券の取得による支出	△51	△182
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	23
貸付金の回収による収入	13	13
その他	△3	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110	△345
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△375	242
長期借入れによる収入	557	—
長期借入金の返済による支出	△682	△175
配当金の支払額	△368	△367
その他	△61	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△930	△380
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△190	1,376
現金及び現金同等物の期首残高	4,083	2,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,892	4,341

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	53,303	1,447	378	55,129	—	55,129
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3	—	19	22	(22)	—
計	53,306	1,447	398	55,151	(22)	55,129
セグメント利益	893	13	313	1,220	(489)	730

(注) 1. セグメント利益の調整額△489百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△490百万円、その他4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	51,393	1,731	380	53,505	—	53,505
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3	—	19	22	(22)	—
計	51,397	1,731	400	53,528	(22)	53,505
セグメント利益	671	197	304	1,172	(387)	784

(注) 1. セグメント利益の調整額△387百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△387百万円、その他4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。

5. 補足情報

1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前年同期比
食品(酒類・飲料含む)	35,467	34,409	97.0
業務用商品	7,981	7,386	92.6
米穀	4,677	4,456	95.3
飼料・畜産	5,176	5,141	99.3
商事部門計	53,303	51,393	96.4
ホテル部門	1,447	1,731	119.6
不動産部門	378	380	100.6
合計	55,129	53,505	97.1